

お客様各位

耐糖負荷試験報告書改訂に関するご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび下記のとおり報告書の改訂を致しますのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《開始日》 令和6年12月2日(月) 出力分より

《変更内容》

変更箇所	内容
報告書のタイトル	① 「糖負荷試験報告書」に変更
経口ブドウ糖負荷試験 (OGTT)	② 判定区分が分かりやすいようにグラフ上で色分けし、判定基準の設定根拠資料をグラフ下部に明記
インスリン、C-ペプチドの「白抜き範囲」(目安)	③ インスリン：目安基準値の廃止 C-ペプチド：基準値変更により、白抜き範囲の目安基準と違いが発生したため廃止
「 Δ IRI/ Δ BS (30分)」の表記	④ 「 Δ IRI/ Δ BS (30分)」を「インスリン分泌指数」に変更
「 Δ IRI/ Δ BS (30分)」の説明文	⑤ 説明文の下に根拠資料を明記

※詳細は別紙をご参照ください。

《変更理由》 報告書見直しのため

別紙：

【変更後】

糖負荷試験報告書 FALCO

① タイトルを「糖負荷試験報告書」に変更

検体NO. _____
受付日 _____
採取日 _____
採取時間 _____
報告日 _____



② 判定区分が分かりやすいようにグラフ上で色分け

項目名 時間 結果 (μU/mL) D

時間	結果 (μU/mL)
空腹時	40
30分	
60分	
90分	
120分	
150分	
180分	

判定基準: 日本糖尿病学会 糖尿病診療ガイドライン2024

② 判定基準の設定根拠資料を明記

項目名 時間 結果 (ng/mL) D

時間	結果 (ng/mL)
空腹時	4
30分	
60分	
90分	
120分	
150分	
180分	

③ 「白抜き部分」を廃止

尿糖 (mg/dL)

時間	空腹時	30分	60分	90分	120分	150分	180分	210分
結果								

インスリン分泌指数

結果	IRI30分	IRI前	BS30分	BS前

④ 「インスリン分泌指数」に変更

インスリン分泌指数が0.40以下のものは境界型でも糖尿病への進行率が高いとされています。
日本糖尿病学会 糖尿病診療ガイドライン2024

上記のとおりご報告致します。
ファルコバイオシステムズ 責任者
株式会社 ファルコバイオシステムズ

⑤ 上記説明文の根拠資料を明記

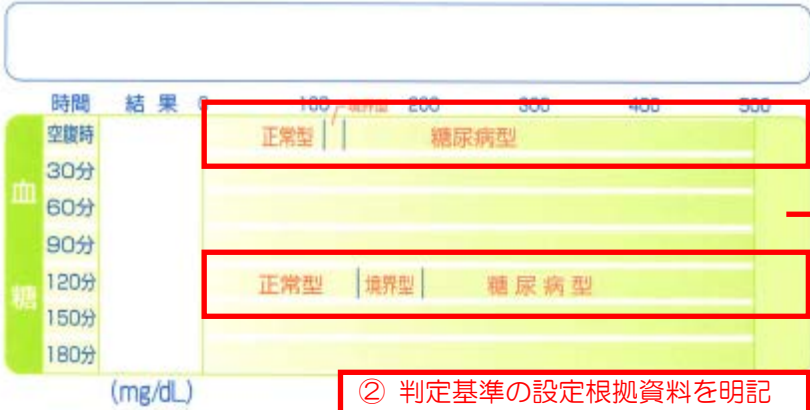
【変更前】

耐糖負荷試験報告書



検体No. _____
 様 受付日 _____
 採取日 _____
 様 採取時間 _____
 報告日 _____

① タイトルを「糖負荷試験報告書」に変更



② 判定区分が分かりやすいようにグラフ上で色分け

② 判定基準の設定根拠資料を明記



③ 「白抜き部分」を廃止



尿 糖 (mg/dL)		空腹時	30分	60分	90分	120分	150分	180分	210分
時間	結果								
結果									

ΔIRI/ΔBS(30分)

④ 「インスリン分泌指数」に変更

結果	IRI30分	IRI前	BS30分	BS前

参考=ΔIRI/ΔBSが【75gGTT:0.4以下】の場合は境界型でも糖尿病への進展率が高いと言われています。

⑤ 上記説明文の根拠資料を明記

上記のとおりご報告致します。

ファルコバイオシステムズ
 株式会社 ファルコバイオシステムズ

責任者